

かっぱ通信



12月 DECEMBER

～くもんは進度が上がっているときに
学力がつき、復習をしているときに
頭がよくなる、無駄のない学習法
です～

早く進ませておかねば後悔する

「学校へ入るまでに算数を教えると、害があるのではないか」
「早くから勉強を教えこんでおくと、授業をおろそかにするのではないか」
こんなことを心配する親がいるようである。

しかし私は、そんな心配をすることは無用であるばかりか、まちがいでであると申し上げたい。

算数を例にとってみると、小学校では半数の生徒が授業から落ちこぼれているといわれている。

中学校、高校になると、その落ちこぼれの比率はずっと大きくなり、6割、7割の生徒が教科書内容を完全に理解できないでいるのが実状である。

私たちの公文式では、高校入学後の学力充実ということを最重要視して教材を精選、配列している。

高校で数学の学力を充実させるためには、その前段階の中学校での学力が安定していなければならない。そのためには、小学校での算数の成績を上げることが第一に考えるよりも、中学の数学へ直結した内容を重点的に学習することが必要である。このため、公文式は教科書の内容と同じような項目を、生徒の学年に応じて教えて行くという方法は、とらないのである。

私が旧制の、いわゆる一流中学校と言われる学校で教師をしていたとき、一人の父親が相談にきて、こう言った「うちの息子は、小学校では秀才でしたがねえ……」

11月の教室日

日	月	火	水	木	金	土
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

23日 勤労感謝の日

12月の教室日

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

1月の教室日

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

1日 元日 2日 振替休日 9日 成人の日

公文式学園の森教室

責任者 前田章子

電話 029-871-8441 携帯 090-8502-4561

メール rsu74650@nifty.com

ご相談は教室日以外でもお気軽にどうぞ。

そこで私は、即座に言った。

「この学校へきている生徒は、小学校での秀才ばかりなんですよ」

程度があまり高くない学校では秀才であっても、その生徒が上の学校へ進学するにつれて、鈍才と化してしまう可能性が大きいということを、私は指摘しておきたい。

5段階評価の5ばかりの生徒が集まってくる学校もあるのではないか。

将来、そのような学校へ進学することを想定してみれば、今の学力で安心することは、決してできないはずなのである。

今のままの学力ならば、小学校では困らないかもしれないが、中学校へ進んでから困るという場合がじつに多い。中学校、高校へ進学したときに、「もっと小学校のときにやらせておけばよかったのに……」ということになるのは、目に見えている。

したがって、なるべく早い時期から能力に応じた学習をし、学年よりも高い段階に進んでおくことが、秀才への道であり、一流高校、一流大学進学への近道でもあるということが言えるのだ。

このように、中学校以降で困ることがないように学力をつけるのが、ほかならぬ公文式の特長である。

継続こそ成功に不可欠の条件

私が教材を作ったのは、子どもたちが高校、大学の入試にあまり苦勞しなくてもすむようにという、きわめて現実的な目的からであった。

何事も、目的を達するためには、適切な計画をとにかく実行し、継続することが必要である。

この教材は最初、私の子どもにやらせるために作ったのであるが、そのとき、私は「継続する」ということを第一に考えた。つまり、この教材と学習法は、何よりも継続させたときの効果を考えて、自分の子どもやほかの子どもさんたちにさせた結果、成功しているのである。

では、継続することによる成功とは、どういうことか。

ふつうの能力を持っている子どもが、かりに小学校低学年のときから毎日30分間公文式の学習をつづけたとすれば、ほとんどすべての場合、高校、大学の入試には必ず安心できる状態になるということを、私ははっきり約束することができる。1日30分というと、簡単なようであるが、これを実行できる人は、じつはそれほど多くないということを私は経験してきた。一流高校、一流大学への進学が確実に保証されるとすれば、1日30分という学習は、決して高価な代償ではないし、また子どもに大きな犠牲を強いるものではないはずである。

「公文式創始者・公文公（くもんとおる）」

連絡事項 ◆教室休み 11/23、12/3、12/28～1/6 ■TOEFL11/27■英検 1/14

- ① 【受信許可設定をお願いします】A:教室連絡用 rsu74650@nifty.com （3件まで登録可）
B:お知らせ専用 k-info@kumonmail.jp （送信専用）
- ② 【駐車場】教室の駐車場は敷地内と隣接のくもん看板のある駐車場です。長時間の待機は控えいただきお知らせメールでの連絡を受けてからの迎えにどうかご協力ください。